

静岡県西部地域しんきん経済研究所トピックス

2011年10月5日

「平成23年7～9月期中小企業景気動向調査」調査結果報告

－震災の影響は一巡で大幅改善。10月以降も改善持続見込み－

静岡県西部地域しんきん経済研究所（理事長 山本長行、以下県西部しんきん経済研究所）は、静岡県西部地域の中小企業を対象に行った「平成23年7～9月期中小企業景気動向調査」の調査結果をまとめましたのでご案内します。詳細は別添資料をご覧ください。

1. 調査概要（調査 静岡県西部地域しんきん経済研究所 協力 浜松商工会議所）

調査対象 静岡県西部地域の中小企業 636 社

調査方法 調査表による面接聴取法（遠州信用金庫、浜松信用金庫に委託）

調査時期 平成23年9月1～7日

回収状況 回収数 609 社（回収率 95.8%）

2. 「中小企業景気動向調査」の調査結果

① 平成23年7～9月の業況について

静岡県西部地域の中小企業の業況判断指数（DI＝「良い」とみる企業の割合から「悪い」とみる企業の割合を引いた数値）は全産業ベースで－34.0となった。平成23年6月の前回調査（－60.8）から26.8ポイント改善。前回調査の9月予想値（－49.8）よりも大幅上方修正となり、予想以上のスピードで東日本大震災の影響から回復していることがうかがえる。

② 平成23年10～12月期の見通しについて

10～12月期にかけて、業況DIは2.5ポイント改善して－31.5となる。円高、欧州債務危機と外部環境は良好ではないが、自動車部品製造業の回復が地域経済を牽引する。

③ 主な業種別の動向

業種	業況DI (前期→当期→来期見込み)	動向
二輪部品製造 (56社)	－81.5→－42.6→－40.0	業況DIは、38.9ポイント改善し－42.6となった。6月の9月予想値（－64.8）から大幅上方修正。
自動車部品製造 (68社)	－79.4→－8.8→2.9	業況DIは、大幅改善となった。人手が不足気味で10月以降も改善が持続する見込み。
機械部品製造 (63社)	－53.2→－23.8→－30.2	業況DIは大幅に改善したが、次期予想は悪化を見込んでいる。
楽器部品製造 (19社)	－55.6→－57.9→－57.9	震災の影響が小さく、6月調査では業況DIは改善していたが、今回調査では全業種中唯一悪化した。
繊維製造 (23社)	－58.3→－43.5→－26.1	業況DIは改善を見せるも戻りは遅い。
卸売業 (89社)	－57.0→－41.6→－34.8	景況感は改善しているが、仕入価格が高止まり、価格転嫁が進んでいない。
小売業 (70社)	－52.9→－44.3→－51.4	業況DIは改善を見せるも、取扱商品によっては風評被害の影響あり。
建設業 (70社)	－66.7→－34.3→－40.0	業況DIは大幅改善。資材の調達は正常化。材料価格も落ち着きつつある。
不動産業 (39社)	－42.1→－30.8→－35.9	業況DIは震災前の水準を上回る。販売価格、仕入価格とも下落傾向。
飲食・宿泊・レジャー等 (14社)	－87.5→－21.4→－14.3	自粛ムードは一巡。業況は、66.1ポイント改善して－21.4となった。6月の9月予想値からも大幅上方修正。

本件のお問い合わせ先

432-8036 浜松市中区東伊場 2-7-1 浜松商工会議所会館 9階

静岡県西部地域しんきん経済研究所 間淵 TEL 053-452-1510